

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 1日	
石川県知事	殿
提出者 小川 和男 住 所 石川県能美市浜町タ141番地 氏 名 代表取締役 打本渉 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0761-55-1122	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ツキボシ&P
事業場の所在地	石川県能美市浜町タ141番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	24 金属製造業
② 事業の規模	118,000万円
③ 従業員数	117
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ 汚泥⇔脱水処理後、全量委託処理(混錬)・ 廃プラスチック⇔全量委託処理(焼却、破碎)・ 廃油⇔全量委託(焼却)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙管理体制図参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) ・日々の汚泥の濃度推移並びに薬品添加量の監視により汚泥量の削減並びに脱水効果の向上に取り組んだ ・蛍光灯からLED管へ変更を進めた。 ・廃材、端材を再利用し産廃削減を進めた。 ・工場廃水を削減を行い汚泥排出量の削減に取り組む		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) ・工場廃水を削減を行い汚泥排出量の削減に取り組む		

産業廃棄物の分別に関する事項	
----------------	--

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生種毎に分別廃棄するよう廃棄場所を識別した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃材、端材の再利用を進め産廃削減に取り組む。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	666.8 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		

	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t	t

		処 理 委 託 量		
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者を優先的に選定する。			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

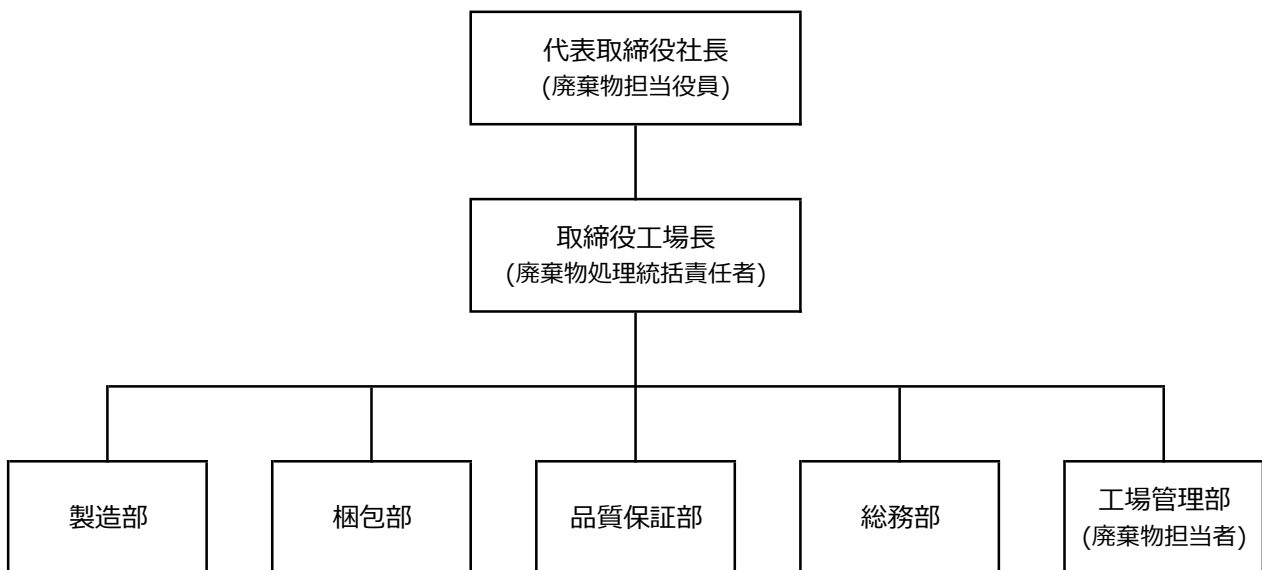
別紙 管理体制図

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

● 責任者及び管理組織図

統括責任者		取締役工場長 大嶋 充裕
廃棄物担当		工場管理部工場管理課 廃棄物担当人数：4名（責任者 部長）
役割	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○廃棄処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当者	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○マニフェストの交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員に対する教育・啓発 ○その他の関係する事項

廃棄物管理組織



別紙

●産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状_【前年度（令和5年度）実績】	
産業廃棄物の種類	排出量
汚泥	889.1 t
廃プラスチック	7.5 t
燃えやすい廃油	20.2t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
がれき類（工作物に新築、改修又は除去によって生じた不要物）	

②計画_【目標】	
産業廃棄物の種類	排出量
汚泥	950t
廃プラスチック	8t
燃えやすい廃油	20t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
がれき類（工作物に新築、改修又は除去によって生じた不要物）	

●産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状_【前年度（令和5年度）実績】		
産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量
汚泥	222.3t	222.3 t
廃プラスチック	7.5 t	7.5 t
燃えやすい廃油	20.2t	20.2t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		
がれき類（工作物に新築、改修又は除去によって生じた不要物）		

②計画_【目標】		
産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量
汚泥	950 t	950 t
廃プラスチック	8t	8t
燃えやすい廃油	20t	20t
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		
がれき類（工作物に新築、改修又は除去によって生じた不要物）		